

Tec00016 ◎読書談話室～『独走商品の現場』と商品開発～

#0000 dando 9202162235

商品開発ストーリー、関心がありますか。『独走商品の現場』の感想に限らずいろいろと話し合うコーナーにしたいと思います。ゲストの reader 氏で発言、またはわたしへのコメントをされたい方があれば、「m」と入力でメールを・・・dando

#0001 dando 9202162338

科学技術ニュース&トークボードで、科学面改革の話をしているうちに商品開発秘話として、かつて試みた仕事をまとめて紹介しておきたいと思うようになり、電子ネット単行本にしてみました。

しかし、もともと縦書きの原稿なので、横書きにするのに手直しが必要。アップしてみると、直し切れていないところがいくつか見えます。読みにくいかもしれませんが、ご勘弁願います。時間がかかるので、本日はまずは前半の14章でおしまいです・・・・・・・・・・・・・・・・dando

#0002 dando 9202191915

やっと、アップが終わりました。やれやれ・・・。

思い出しましたが、readerの方でも、わたしあてに直接のメールが出せますから、そんな形でコメントしていただいても結構です。重ねて、関心がある商品からどうぞ、です・・・・・・・・dando

#0003 sci1509 9202212040

す、凄い量ですね。やっとダウンロードしました。

読むのもちょっと時間がかかりそうです。また後程。

TAKA

#0004 sci1044 9202282111

日本蚕毛でしたっけ、電話してサンダーロンの商品をとったのですが、小売りはしていないそうでした。以前、JAFの通信販売でサンダーロンを使ったフロアマットがあったのですが、名前からして「臭い」と判断し買わなかったのです。今から思えば、惜しい事をしました。この時期でも愛車から降りるとき「ビシッ」と放電する静電気がたまりませんから・・・

「誤り人」

#0005 dando 9203021403

わたしは現在でも、そのサンダーロンの房が付いたキーホルダーを愛用しています。おかげで我家のドアを開けるときに冬場必ずビリッときていた感覚を忘れて久しいのです。あれはどこでも手に状況になっていないのかな。マイナーなところが面白いものをつくっても普及しにくいので困りますね。是非にほしいのでしたら車用カーペットは無理でも、キーホルダーくらいならば手に入るかもしれませんよ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・dando

#0006 sci1044 9203070644

dando さん、是非よろしくお願ひします。どうも電気関係の仕事のせいか静電気には弱く、「ビビット」身体がなるんです。

「誤り人」

追伸：放電管方式の静電気リークキーホルダーは静電気の蓄電量が

多いとやっぱりビビット来るんですね。

#0007 sci1509 9203080128

先日晴海でコンベンションがありまして、私は生産・情報システムの方を見にいったのですが、隣で静電気対策製品の展示もやっていました。日本蚕毛染色も出品して静電気発生装置と自社製品を並べてデモしていました。

劇的な効果があるものなんですね。驚きました。

TAKA

#0008 dando 9203191451

ここの基調と少しずれるかもしれませんが、皆さんにこんなテーマで意見を募りたい思います。

「在・西日本マスメディアに望むこと」

というのは、現在、朝日の大阪本社では大阪で新聞を出している意義を見直してみようーとの機運があり、社内的に大規模な研究活動を始められています。

誤り人さんにサンダーロンの静電気放出キーホルダーを手配したついでに、3つほど余分が手に入りましたから、意欲的な書き込みの方に、ささやかですが賞品として進呈します。もともと、「独走商品の現場」は京都版に連載していながら、全国向けに「発信」する気持ちで書いたシリーズです。多少の関連はあります。

で、予備知識として、朝日新聞での大阪の地位を説明しておきます。創刊の地ではありませんが、現在の本社機能は東京に移して久しくなりました。しかし、新聞の発行機能は東京に準じたものを備えています。名古屋や九州とは別格の規模です。それは、例えば関東で大地震があり東京の新聞発行が不能になった際に代行できる設備と人的資源を大阪に持っておこうと考えているからです。それゆえに「二眼レフ」論がいわれることになります。

情報を含めた東京の一極集中がますますひどくなり、単行本でさえ

首都圏が売上の6割を占めるので、首都圏で売れない内容のものは出版が難しくなるありさまです。新聞のニュースも東京の紙面にでる地方ものは、かなり決まりきった行事や事件ものの類が多くて、(第3社会面ができてから、少し救われた面もありますが・・・)東京の人は全国的に意味がある動きをニュースとして知ることもできにくくなっています。その意味では、水曜科学面は大阪本社で編集して全国の読者にそのまま読んでもらえる貴重なページで、京都支局にでる前はわたしもかなりいれこんで作ったものです。そんな面はほかにはなくて、東京で取捨選択されたニュースが名古屋や九州にファクシミリで流れるという状況です。大阪だけは独自に新聞をつくれるので、よけいに大阪で何をすべきか、考えたいわけです・・・・・・・・・・・・・・・・dando

#0009 sci3873 9203210446

やっとこさ読み終わりました。
開発の仕事をしている関係で、非常に興味を持って読みました。
先人のバイタリティには、感心してしまいました。
オンラインにての書込なので、感想文は後日書込みたいと思いますが
弊社のスタッフへの回覧をさせていただいておりますので、そのコメントも、書込めたらと思っています。
しかし、ここだけの発表では、もったいないと思いますが...
書籍にするご予定はありますか？

錯乱坊

#0010 sci1223 9203212257

私も紙にプリントしてやっとこさ読み終わりました。何しろすごい量ですね。新聞だと、1行に11文字ですし、多分写真なども入っているだろうから、通信のログなんかよりもずっと読みやすいのでしょうね。
全体の感想としては、良くもまあこれだけの話題を見つけたものだと感心しました。それとも京都では有名な事なのでしょうか？個別の感想は次に・・・

ひらひ

ら

PS. 錯乱坊さんが書かれています、本にしてはいかがでしょうか。朝日新聞朝刊の社会面(?)の「それから」という連載ものが本になるとか。東京版だけなのか良くわかりませんが、新聞に連載されたものを出版するのは私のような不精ものには大歓迎です。(切り抜きなどやりませんので)

#0011 dando 9203232105

わあーっ、全部読んだのですか、おふたりは！

これは完全に単行本の分量ですから、恐縮です。出版計画はありません。京都ローカルな中身と判断されがちですから、首都圏には向かないのです。確かに、新聞の切り抜きは読みやすいし、わたしが少しは腕に自信がある(!)写真も入ってますし……。でも、記憶されている方もあるかもしれませんが、この連載はニフティのホームパーティといくつかのフォーラムとで「オンエア」されていたので、半分は公開済みです。後半の「コメント部分」も大半はホームパーティで流していたのです。

こんなエピソードの山、京都では有名ですか。ノーですね。地元の記者諸兄も呆然として読んでいらしたようです。でも、京都で必ずしもなくても、こんな開発はあるのだと考えています。折があれば、もっとあちこちでやってみたいと思います。

わたしの記事には朝日新聞の法人著作権が絡むので、とりあえずの公開の場としてここを利用してみました。勝手に出版されると困りますが、プリントして回し読まれることはありがたいことだと思います。後日で結構ですから、感想をお聞かせ下さい・・・dando

#0012 dando 9204031204

異動のどさくさで、あまり寄れませんでした。皆さんも年度末の忙しさ、片付きましたか？

さて、4月からは7年余り在籍した科学部を離れて、通信部という、本来は地方問題を扱うセクションに来ました。今日は泊まり明けの勤務で、やはり寝不足です。わたしの仕事は、自由にやってよと言われていきますから、結局はこれまでと同じになります。

西日本メディアについて、まだ書き込みがありません。思い付きに、「関西」にまつわる言葉をひとつ紹介します。「くだらない」という言葉の由来です。この言葉は江戸時代に出来たようなのですが、それは、上方から関東に送られた各種の産物「くだりもの」にならない、つまらないもの「くだらない」ものを指しました。お酒ひとつ取っても、当時の江戸の酒は濁り酒でしたが、上方では澄んだ清酒が開発されていて、江戸の町衆には垂涎の的でした。それだけ上方の方が新しい物を生み出す力が強かったのです。

独創性という点では、実は戦後になっても関西の方が関東を上回り続けます。大衆に迎え入れられた商品やビジネスの大半は関西を誕生の地としています。それはいつだったか、堺屋太一さんの話として、原発ボードの初期に書いたことがありましたね。ちょっと見てきましょう。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・dando

#0013 dando 9204031209

ありました。堺屋さんの話が出るのは、原発ボードの基調#19です。読まれていないかたは、どうぞ・・・・・・・・・・・・・・・・dando

#0014 sci3873 9204121604

独走商品の現場を、部内回覧したところ、早くつづきをUPしろ！という、いわれのないお叱りを頂くようになりました。つづきがあるなら、私だってUPしたいわい！

ところで、感想をいろいろ聞いて見ると、弊社の様な中小メーカーの開発部門でも、あの記事に通ずるような、言ってみればいいかげん且つ、場当り的な開発がヒットしてしまうような事例もあり、これは

どこのメーカーでも、一つや二つすねに傷持つ新商品が、あるのでは無かろうかと思う今日この頃であります。

京都に限らず、その地域独特の商品開発にまつわるエピソードが、また聞けたらいいなあと思うのは、私だけでしょうか？

では、また感想が集りましたらご報告いたします。

錯乱坊

#0015 dando 9204151045

場当たりのねー。でも、ここに登場する企業の人達は、例えば、例のハネウエル社の特許を知りながら、それを擦り抜けることばかり考えて、自動焦点カメラを開発したというミノルタの開発チームとは違う自前の仕事をしたのだと思いますよ。

その意味では、地域独特ではなくて、まっとうな商品開発のエピソード集になっているのでは……。もっと、別の話も、という件。その後も、幾つか、これに類する仕事もしていますが、また、機会を見て、広げましょう。

いつも感想のアップ、ありがとさんです・・・・・・・・・・dando

#0016 sci3873 9204212307

たしかに、場当たりのというのは、若干違うような気がします。しかしながら、戦後の日本が辿ってきた開発は、行き着くところいや、基本的にコストをいかに抑えて列強諸国に割り込むかと言うのが第一課題であったと思います。(私の独言かもしれませんが)そこから、列強には考えもつかなかった、隙間産業にベンチャー的活路を見いだして来たことによって、基調 15 のような企業が芽生えて来たのでは？

易かろう悪かろうの商品が、安井い高性能・高機能商品に移行してきたのは、多くの、場当たりの企業の盛衰があったからこそではとも思うのです。話は飛びますが、日本のカスタマーは、どうせ買うのであれば、

同じものでも、良いものを求める傾向にあると思います。
繁栄期の列強諸国では、消費をするために働く、日本は貯蓄するために働く
(これは、敗戦を経た日本だからこそかもしれません)
一生懸命働いて溜めた賃金で、より良いものを求めてきた、
それが、品質向上に繋がったのかもしれない。
また、それが着眼点を養う土壌になったのかもしれない。
我ながら、支離滅裂なことを言ってるような気がしてきましたので、
ここでやめます。
また、エタノールが抜けたときに、書き込みします。
(出張先より、泥酔のオンラインにて・・・) さくらんぼう